

各委員会等行政視察報告

総務常任委員会

五月二十一日～二十三日(所管事項調査)

一 東京都渋谷区
「個人情報保護制度の取り組みについて」
区の震災対策総合条例の一部改正により、災害時要援護者名簿の外部共有を行なっている。

二 北海道千歳市
「防災事業 防災学習交流センターについて」
ほかにはない先進的な施設で、自主防災組織の訓練もでき、自主防災組織の強化に取り組んでいた。

「行政評価システムについて」
本年度から市民による行政評価を実施するなど先進的な取り組みがなされていた。

三 北海道札幌市
「防災事業 市民防災センターについて」
小規模ながら効率的で、各種災害の模擬体験を通じて、防火・防災に関する災害時の行動を学ぶ先進的な施設であった。



東京都渋谷区総合庁舎前にて

民生常任委員会

五月二十三日～二十五日(所管事項調査)

一 東京都世田谷区
「プレパーク事業について」
子どもたちの遊びの好奇心を大切に、屋外での遊びを通して得られるいろいろな体験や交流が、子どもたちの成長には必要であり、そのような遊び場環境整備が求められる。

二 岐阜県白川町
「タブレット端末を活用した見守り事業について」
情報機器を活用した行政サービスの取り組み事例について情報アンテナを立てて、研究していくことが求められる。

三 三重県桑名市
「斎場整備事業について」
火葬場については時間がかかることから、整備に向けた早急な検討と迷惑施設であるイメージを変えるような施設の設計が求められる。



世田谷プレパークにて

建設産業常任委員会

五月十六日～十八日(所管事項調査)

一 株式会社みやざきバイオマスリサイクル(宮崎県川南町)
「バイオマス発電について」
プロイラー農家などから鶏ふん(バイオマス)を大量に集めて、それらを焼却し、その焼却熱を利用した発電による電力の販売を行っている。また、焼却に伴って生じる焼却灰の販売も行っている。環境に配慮した循環型社会事業を構築をしている。

二 宮崎県日南市
「(飲肥(おび) 杉を活用した日南再生プロジェクトについて」
日南市の(飲肥(おび) 杉を地域資源として市の職員が中心となっており、まちづくりの核として価値を見出したプロジェクトである。新築家屋に杉材を提供したり、公共事業の際に建築材として積極的に取り入れるなど、市民に身近に感じてもらう日常生活で(飲肥(おび) 杉が溢れているような取り組みをしている。



みやざきバイオマスリサイクルにて

文教常任委員会

五月十六日～十八日(所管事項調査)

一 東京都千代田区
「千代田区立図書館について」
指定管理者が民間事業者のノウハウを活用し、サービスの向上に努め、日本の図書館の最先端を進む事業展開をしていた。

二 北海道滝川市
「心の教育推進事業について」
いじめや自殺に対する二十四時間体制の相談員の配置や警察との連携協定により自殺の未然防止に取り組んでいた。

また、大学生の協力により、児童生徒とのふれあいの場を持ち、児童生徒の実態の把握に取り組んでいた。

三 北海道北広島市
「北広島市図書館について」
地域ボランティアの積極的な支援により、書架の整理など図書館運営をしていた。

小中学校と図書館をオンラインで結び、均質な図書館の管理を行っていた。



千代田区議会議場にて

那須赤十字病院視察

開院を目前に控えた六月十一日(月)、全議員が那須赤十字病院の視察を行いました。
新病院は「マイタウン・マイホスピタル」を基本理念に掲げ、地域に根差した病院づくりを進めていくこととしております。

また、最新の医療機能を導入し、がん診療や救急医療体制の充実を図り、質の高いサービスを提供していくことを目指しております。

建物の特長は、免震構造により、地震時でも安心できる設計であります。

また、病棟は、中央から四十五度振り出した「ウイング型」に配置され、看護動線を考えた設計であります。稼働病床数は四百五十四床、うち個室も百二十八床を確保しており、旧病院から大幅に増床されました。

議会は、本市の地域医療の中核を担う那須赤十字病院の役割に今後も期待しております。



一階ロビーの様子